

期	Ⅲ 期 (9月・10月・11月・12月)	Ⅳ 期 (1月・2月・3月)
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りのことを自分でしようとするが、個人差がある。自分でできる喜びを感じる姿が見られる。 ○やれるのに省略したり、ほかのことを優先したりする姿も見られる。 ○ひとつの遊びを友達といっしょに楽しむ中で友達とのかかわりを深めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○安定した気持ちで園生活を送るようになり、仲の良い友達と遊んだり、友達や保育者の手伝いを喜んでしようとしたりする。 ○友達とのかかわりも深まり、遊びのイメージが広がり仲良しのグループで遊べるようになる。 ○体験したことや想像したことを自分なりに話し、言葉での表現が豊かになる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活の中で自分でできることをしようとする。 ○いろいろな運動に興味を持ち、十分に体を動かして遊ぶ。 ○経験したこと、感じたこと想像したことなど、さまざまな方法で表現する。 ○季節の移り変わりを感じたり、自然物で遊んだり作ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分から身の回りのことを意欲的にしようとする。 ○身の回りのことや保育者の手伝いを進んでする。 ○体験したことや想像したことを自分なりに話し、言葉での表現が豊かになる。 ○大きくなる喜びと進級に対する期待を持って生活する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○健康に留意し、かぜ予防のうがい・手洗いを習慣づけるようにする。 ○気温の変化に応じた環境・保健に留意する。 ○保育者との信頼関係の中で、自分の気持ちや考えを安心して表すことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○暖房器具などの安全に留意し、室温や換気に気をつける。 ○ひとりひとりの成長を認め、自信を持って楽しく生活できるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ○食事、排せつ、午睡、手洗い、うがいなどの手順や意味を理解し進んでしようとする。 ○遊具、用具の使い方を知り体を使って遊ぶ。 ○年上の友達にまねをして遊んだり、遊んでもらったりする。 ○秋の自然に触れ、植物の色や形、小動物の変化などに気づき、季節の移り変わりに興味関心を持つ。 ○自然の素材を使って好きなように作って遊ぶ。 ○絵本や紙芝居などをみんなで楽しみ、友達とイメージを共有して遊ぶ。 ○いろいろな運動遊びや集団遊びを、友達といっしょに楽しむ。 ○ごっこ遊びを楽しむ。 → ○手をつないで散歩に行く。 → 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活に必要な習慣が身につく、自分で行動する。 ○寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。 ○集団としていっしょに行動することを楽しむ。 ○年上の友達に遊んでもらったり、年下の子とふれあって遊ぶ。 ○体験したことや知っている絵本、お話を再現して、みんなで楽しむ。 ○霜柱、雪、氷など、冬の自然を見たりふれたりして感動する。 ○絵本や紙芝居などをみんなで楽しみ、好きな登場人物になりきって遊ぶ。 ○自分の思ったことや感じたことを言葉で表現し、言葉のやりとりを楽しむ。 ○ごっこや好きなお話を、表現遊びにして楽しむ。 ○描いたものや作ったものを、保育者といっしょに飾ったり使ったり遊ぶ。 ○音楽に親しみ、聴いたり歌ったり体を動かしたり、簡単な楽器を鳴らして遊ぶ。 ○年上の子に親しみやあこがれの気持ちが高まっていく。 →
援助配慮環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○健康に留意し、かぜの予防のうがい・手洗いを習慣づけるようにする。 ○戸外で元気に体を動かしたり、自然にふれたりする機会を多く持つ。 ○季節の移り変わりに関心を向け、子どもといっしょに楽しんだり感動したりする。 ○自分の気持ちを互いに言葉で伝え合えるように仲立ちする。 ○イメージを共有できるような遊びを提供し、楽しさを共感し合う場面をたくさん作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの生活習慣の獲得状況を把握し、励ましたり認めたりしながら、必要な行動ができるようにする。 ○みんなで活動する楽しさを味わい、進級への期待が膨らむようにかかわる。 ○冬の自然や春に向う変化に気づかせる。 ○相手の気持ちに気づき、自分たちで解決できるように援助する。 ○さまざまな遊びを展開したり、継続して遊びが楽しんだりできるように、素材や遊具を用意し、積極的に遊びたくなるような空間を作るようにする。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○行事や遊びを通して、子どもの成長を共に喜び、自分の子どもだけではなく他児のようすも知ってもらえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育懇談会で子どもの成長を振り返り、1年の成長を喜び、安心して進級できるようにする。
聖書	<ul style="list-style-type: none"> ○クリスマス会に向けて暗証聖句を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> ○紙芝居などを通して、神様の事を知ろうとする。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな食べ物に親しもう。 ○いろいろな食べ物を食べる楽しさを知り、自分が食べる食品に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく食事をしよう。 ○友達と楽しく食事をする。